



麻しん（はしか）にかからないために 麻しん風しんの混合予防接種

問 健康支援課保健予防係

☎ 0 4 7 9 (8 0) 8 3 8 3

◆麻しん（はしか）って？

麻しんウイルスは空気感染する病気です。発熱、せき、鼻汁、目やに、発疹が主な症状です。感染力が強く、かかると脳炎や肺炎などに重症化することもあります。麻しん予防には、予防接種しかありません。

先進国では麻しんという病気がすでになくなった国もありますが、日本ではまだ流行している病気です。昨年の春も県内で1,000人以上の人が麻しんにかかり、学級閉鎖になった高校もありました。

乳幼児期に予防接種を一度受けている人も、年数が経って免疫が落ちていたりとかかかってしまうことがあります。そのため20年度から5年間、麻しん風しん混合予防接種を中学1年生と高校3年生相当に追加接種を実施しています。

高校3年生相当の人の接種については、未婚の人は保護者同伴が原則ですが、保護者の同意と署名があれば本人だけでも接種できます。接種の受け方など詳しくは、3月末に送付した個別通知をご覧ください。通知が届かなかった人、紛失した人は、保健予防係にご連絡ください。

◆予防接種を早く！

○麻しんは、春から夏にかけて流行します。2期・4期対象の人は春休みや土曜日などを利用して早めに接種を済ませましょう。

○麻しんと風しん両方にかかったことが明らかな人以外は、定められた機会を逃さないようにしましょう。

○麻しんまたは風しんにかかった人でも、麻しん風しん混合ワクチンを接種しても差し支えありません。

◆対象者（H21年度）

1期：1歳以上2歳未満（1歳になったらできるだけ早く）

出生届時に配付した案内参照、各自医療機関で接種

2期：就学前年度（平成15年4月2日～16年4月1日生まれ）

対象者に個別通知、各自医療機関で接種

3期：中学1年生（平成8年4月2日～9年4月1日生まれ）

学校で集団接種

4期：高校3年生相当（平成3年4月2日～4年4月1日生まれ）

対象者に個別通知、各自医療機関で接種

◆お知らせ

国保成東病院の予防接種曜日が次のとおり変更になりました。毎週火曜日、第2・4木曜日、午後2時半から

ひとりひとりが今からやろう！！今からできる手軽な 新型インフルエンザ対策

◆新型インフルエンザとは？

本来、鳥が感染する「鳥インフルエンザ」が変異して、人に感染するようになったものを「新型インフルエンザ」といいます。いったん新型インフルエンザが発生すると、世界的な大流行が起こると心配されています。流行が起こったときに、何ができるのか、あるいは、何が必要なのか。今のうちに、自分自身で予防法や対応を身につけておくことが大切です。

◆うがい・手洗い・マスクを習慣づけましょう！

感染症予防の基本である、うがい・石けんでの手洗いを日常的にしましょう。石けんで手洗いすることにより、ウイルスの活動性が抑えられるのでとても有効です。

マスクは自分だけがつけていればいいということではなく、熱や咳、くしゃみ等の症状がある人につけることを促すことも大変重要です。また、「咳エチケット」を確実に実施しましょう。

妊婦健診の助成が 増えました

4月1日から、母子健康手帳別冊1についている「医療機関委託妊婦一般健康診査（妊婦健診）の受診票」が5回分から14回分に増えました。健診の費用を市が助成することにより、経済的負担を軽減します（自由診療との差額は、自己負担）。

県内の医療機関など（助産所含む）で、4月1日以降に受診した費用が対象となります。県外の医療機関などを希望する場合は、受診前に必ずお問い合わせください。3月31日までに母子健康手帳を受け取った人および転入された人には、詳しい内容を個別に通知しました。まだ届いていない場合は、ご連絡ください。

問

健康支援課母子保健係
☎ 0 4 7 9 (80) 8 3 8 4